

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番地10
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

小林国二 小林善秋 高橋潔 加瀬由紀子
室賀清輝 近藤マリ子 近藤善信
後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社



完成した客殿の外観

「たすけあい・おもいやり・もつたいたい」と感じる心を大切に！

翠巖龍弘

安善寺の境内では様々な種類の紫陽花が咲きはじめ(六月下旬)、来山された方々の目を楽しませてくれます。小雨の中の、曇り空での、木漏れ日を受けての紫陽花、梅の時期に一番似合う花ではないでしょうか。私も朝起きると一番に庭にでて楽しんでおります。

庭の紫陽花の後の拳の木には鳥の巣がありますが、巣立ちも無事終わったようで、家族と思われる数羽が一緒に飛んだり鳴いている光景が見られます。

鳥の巣に子供がいた頃は、犬や猫が庭に入ると親が低空飛行で向かっていたり、人間が庭にいくと頭の上の枝に止まり、「ギャー」威嚇しておりましたが、普段見慣れている私共がいつても、害のない事がわかるのか知らん顔には驚か

されました。と同時に、本能とはいえ、子供のためには身を以て守る姿には関心させられるとともに、今の日本社会の諸事件を思うと深く考えさせられます。

昨今の日本では子供が被害者になることが多く、外で挨拶されても知らん顔をしないとい、指導しなければならなくなった学校もあり、誰も信用出来なくなってきた日本。朝食抜きの児童が増え、学校で朝食をださざるをえないところもあるそうです。

昔、雨戸を開けばなしにし蚊帳をつり、家族一緒に寝、朝は子供も含め協力し合い朝食を共にしていたことは夢物語りになってしまったのでしょうか。最近では格差社会とも言われ、不公平を感じる人も多くなり、日本社会が悪い方に

向かっていると感じる人も増えていようです。「金儲けのどろが悪い」と開き直る人もおり、拝金主義が横行するようでは日本の良さが益々失われていきます。お金を儲けるにも、他人を騙さず、ずるをせず、真面目に働いている人が悲しまないようにする事が大事ではないでしょうか。

盂蘭盆の季節になりました。普段仕事などの関係で遠くにいた人も、お盆には縁あって家族になった人々が一緒にになり、ご先祖様に手を合わせ、先祖から受け継がれてきた「生命」の尊さを認識し、日本人が本来もっていた「たすけあい」「おもいやり」「もつたいたい」と感じる心を大事にし、家庭、地域社会、日本、世界中の人々が安心して暮らせるようになりたいものです。

君自身が心から感じたことや、しみじみと心を動かされたことを、くれぐれも大切にしないでならない。それを忘れないようにして、その意味をよく考えてゆくようにしたまえ。—吉野源三郎「君たちはどう生きるか」—

ご家族の皆さままでご覧ください

〔大本山總持寺 雲水日記〕

首座和尚と共に全力で頑張ります

近藤真弘

本山での修行も六年目を迎えた今年の四月、私は今まで一年間修行していた布教参禅寮というところから「書記」という配役に転任いたしました。

曹洞宗のお寺では年に二回制中という特に厳しい修行期間をもうけます。もともとインドで修行僧と云うのは「行雲流水」と

いう言葉で表されるよう流れる雲のように水のように一定の場所に留まらず托鉢をしながら各地を巡り修行を行っていました。しかし雨季にあたる三ヶ月間はバラバラだった修行僧が一ヶ所に集まり寺院に於いて坐禅修行をしたと言われています。それが制中の始まりだといわれ、總持寺ではこの制



首座寮で各寮へ挨拶回り

中を四月から迎えました。百日間に及ぶ制中間、そのお寺の修行僧いわゆる大衆のリーダーが選ばれ「首座」と呼ばれます。この首座和尚を第一座に迎え期間中、大衆をまとめあげます。この首座のいる寮舎を首座寮と呼び、今回私がいただいた書記という配役は首座寮において大衆の第二座として首座和尚の補佐、ならびにその名の通り制中間中に行われる諸行事の書き



方戦式での問答

物全般を書き上げます。

今年の四月に上山し修行を始めた新到と呼ばれる新米修行僧にとってこの制中間は僧侶としての一番始めの基礎を教わる大切な期間であり、私がそうであったようにその責任を担い指導を行う首座寮というのは時がたつても強く印象に残っています。

僧侶になるためにはいくつかの段階をふまなければいけません。まず始めに出家得度をし、仏門に入ります。そして今回紹介した首座になり法戦式という行持において法座を勤めます。一人前の僧侶になる過程で例外なく首座法戦式を勤めなくてはならないのです。私は高校生のように熊谷の龍淵寺様で首座を勤めさせていたとき、法戦式を行いました。このように曹洞宗の僧侶



今年上山の新到和尚と

は皆が勤める首座でありませんが、大本山である總持寺で首座を勤めると言うのは並大抵なことではありません。法戦式で行われる問答も地方の寺院では五、十問が普通ですが總持寺ではその規模が大きく問答も二十五問が繰り広げられます。諸準備を終え五月十七日に總持寺大祖堂において法戦式が厳修されました。首座和尚のお寺の檀家さんや、一般の参列者百名以上が見守る中、首座は竹篋という法を説く際に使用する法

具を任職(禪師様)より受け取りそれを手に大問答を繰り広げました。二十五問目、最後に書記である私との問答を終え竹篋を任職に返し法戦式は無事に終了しました。制中間メインの法戦式は無事に終わりましたが、制中はそこで終わりではありません。今回の制中が總持寺に今修行している大衆にとってよい修行期間だったと後々まで思い出に残るよう、残りの制中を首座和尚と共に全力で頑張ってくださいと思います。

五十六さんの想い

「長岡の歴史を伝える会」

世話人代表 澤 秀一郎

「頼まれごととはできるだけ私のモットーのひとつに



努力してみる」というのがあ
るものだから、こんな私にま
で頼むとはよほど困つての
ことだろうと思いつつ、会っ
て話を聞くことになった。

「長岡の歴史を伝える会」
の世話人代表を引き受ける
はめになつてしまった。長岡
に生まれ、長岡に骨を埋め
るであろう私が、長岡の偉
人の五十六さんの遺品収集
に関われることもありがた
いことかと腹をくくつた。

「なぜオークションに出た
のか」などと心ない人の声
が聞こえてきたが、二度の
展示会で見ていただいたよ
うに、後ですりかえられた
ものはひとつもなく、刀身
のない刀そのものが本物で
あることもわかつた。全て
五十六さんのゆかりの物に
間違いはなく、私達が変わ
られない時点からのスター
トなら「武士の情けじゃ」
と、全て受けるしか方法は
ないのではなからうか。



国家の品格の書を著した
藤原正彦氏が長岡の講演で
「長岡藩は勝ち馬に乗っ
ている官軍を取って敵
に回しても会津藩と
の友情を守つた品格の
ある藩であつた」と述
べているが、「常在戦場」
など長岡藩の家訓を大切
にした五十六さんも理
解してくださるものと
思う。

そこで、やるからに
は成功する仕組みを考
え、少しでも多くの方
にお声がけをし「五十

六さんの長岡への想い」を
感じてもらい、遺品を放棄
してよいものかどうか考え
てもらつた。

その結果、沢山の方々か
ら世話人、発起人、顧問、
参加になつていただくこと
ができ、実際に動き出した
二月から四ヶ月で第一目標
の三五〇〇万円を越え、借
金を返済して散逸を防ぐこ
とができた。今後の展示や
検証の経費を入れた大目標
の四〇〇〇万円にもあとひ
と息というところまでき
た。一五〇〇名にもなる人
達の温かいご支援を賜り、
礼状を出させていただいた

が、本当に涙の出る程の嬉
しさを感じている。
連合艦隊司令長官であつ
た五十六さんが、最後の最後
まで戦争回避をはかりつつ、
やむにやまれぬ気持ちで戦
争に突入した経過も、NH
Kテレビ「その時歴史が動
いた」の二回の放映で知る
ことができた。いつか私達
もいずれ早かれ遅かれ、向
こうの世界に行くことにな
るが、五十六さんに会つた
ら「バカだな、おまえ達、
でもありがとう」と言つて
くださるかもしれない。

最後に、武士の情けを知
る多くの熱き心の方々に感
謝合掌し、今後ともご指導
の程よろしくお願い申し上
げます。

◆澤秀一郎氏経歴
昭和20年長岡市生まれ。61歳。
昭和54年長岡市にて沢矯正歯科医院
開設。平成12年長岡歯科医師会長就
任。同18年退任。その間、厚生大臣
賞を長岡歯科医師会代表として授与、
日本歯科医師会会長賞を地震対策で
授与、長岡市教育委員長表彰授与。

「役職」日本矯正歯科学会認定指導
医専門医委員。甲北信越矯正歯科学会
理事。長岡悠久ライオンズクラブ会
長。(社)倫理研究所の生活倫理相談士
および法人インストラクターと法人
スパーバイザー。長岡の歴史を伝
える会世話人代表。

自分でおこなつた貴重な省察は、できるだけ早く書きとめておくべきである。

—ショーベンハウエル「知性について」—

読者からの便り

十三回忌に思いつこと

北海道紋別市 ●須藤秀雄

一昨年の中越地震、倒壊、そして今年の連日の大雪と、大変な天変異変で、苦労なさっていることと思います。心よりお見舞い申し上げます。

窓から臨むオホーツク海は厳冬にもかかわらず、流水の層が薄く沖合いを去来しています。今のところ接岸して沖まで雪原になる心配がありません。節分を過ぎもうひな祭りの季節を迎えることになりました。

早いもので三月二十一日の父母の十三回忌を迎えることになりました。八十年程前の春、未だ紋別には円タクもなく、駅から馬車で嫁入りした母は、新潟の氣候と余りの違いに「此の地に死にに来たのか」と絶句したそうです。技芸学校出の母は戦時中の物のない時代、帯の芯で

ゲートルやリュックサックを作ってくれたのを思い出します。

大正末期の経済恐慌や水害で父も代々続いていた長岡神田町の店を整理して渡道、親戚の金鉱、水銀鉱山事業、海産物問屋の支配人としても時代の変遷に翻弄されて、苦労した人生だったと思います。

「できない」と言い聞かされてきました。子供達も実行しているようです。

自宅で看護していたのですが、老衰で月日も定かでないのに彼岸にと、脑梗塞で臥せていた母は元氣なき一時間でも父より遅くと言っていたのが、その願いに逝った不思議な両親でした。



長岡人の氣質か、米百俵の精神か、終戦の混乱期で生活も大変なときでも私達兄弟の教育に力を注いでくれ「財は失っても、身につけた物は誰も持ち去ること

十三回忌を迎えるに当たり、私の子供の頃が昨日のように思い出されます。父享年九十六歳、母九十四歳（父の死後十時間後）。

合掌

思い出

「大陸児八年間の足どり」

長岡市川崎 ●星野 忠次

(一) 卒業と就職

昭和十三年六月南満州鉄道(株)の就職試験を東京支社で受け合格した。

昭和十四年二月五日満州国の玄関口、大連埠頭に到着した。本社に出頭して、撫順炭鉱発電所勤務を命じられた。「傭員」日給二円十銭だった。

卒業時の級の寄せ書きに大陸児と署名した。当時校長は五代目森山義雄先生だった。卒業記念アルバムの巻頭に墨根鮮やか「最後の独りとなれ」と校長先生は書かれた。

(二) 発電所に赴任した

職名は汽缶手(ボイラーマン)だった。勤務は一日三交代で四階建の独身寮「康徳寮」から通勤バスを利用した。ボイラーは大きな微粉炭ボイラー二基で、隣室の発電機(タービン)五万キロワットを廻転させた。東洋一の火力発電所で二十五万キロワット竣工の記念祝賀会が開かれた。

独身寮は八帖一室に二人同居し、月額五円の同居手当が支給された。暖房はスチームにより、入浴と食堂は一日中開放されており、生活は快適だった。

(三) 長工の同窓会

新緑の琥珀泉で撫順の同窓会が開催され出席した。驚いたことに、大先輩鶴巻憲太郎さんは大正九年機械科卒業生で機械工場長だった。小生は大正十年生まれだからびっくりした。同窓会は三十名位で盛大だった。

(四) 南満工專一附設高等技術員養成所に入所

日本の国鉄と同じく満鉄は鉄道業務だと思っていた小生は、発電所の仕事は余り面白くなく、発電所に通勤しながら勉強して、養成所の試験を受けて合格した。一年経過した昭和十五年四月、大連にあった養成所に入所した期間は一ヶ年半で卒業すれば技術員雇員となり日給は二円七十銭支給される筈だった。

(五) 大連の生活

大連は風光明媚、日本人も沢山いて生活しやすかった。

(六) 養成所卒業して牡丹機関区技術員となる

長工卒の小生は授業は苦にならなかった。またたぐ間に百名位の中独り選ばれて、成績優秀につき、満鉄總裁賞を受賞。副賞として銀時計一個頂戴し光栄であった。昭和十六年九月卒業、撫順に戻らず牡丹江機関区に技術員として着任した。

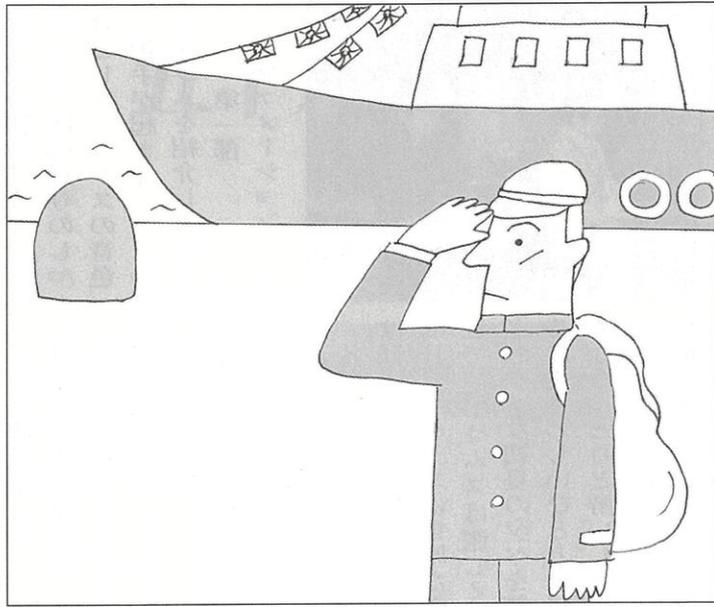
大連で徴兵検査を受け甲種合格だったので昭和十七



た。給費学生で月額五十円が支給され、下宿代は二十八円位だったから残りの二十円は小遣い(文房具書籍代)にまわし、時には喫茶店でコーヒーを飲んだりした。

年三月入営のため内地に帰宅した。丁度昭和十四年大連に赴任して三年過ぎていた。

れたが、部隊は歩兵一四〇連隊・鳥取部隊) 間もなく部隊は満州国延吉に移駐と



(七) 軍隊生活とソ連抑留内地復員まで
昭和十七年三月、歓呼の聲に送られて広島に集合した。宇品を出港して朝鮮經由、ついた処は北支那、右家莊教育隊であった。

一期の検閲が終わる頃、幹部候補生の試験があり合格。士官通だった(申し遅

なり、昭和十七年九月二十五日到着した。間もなく久留米予備士官学校入校のため延吉を出発した。昭和十九年四月、予備士官学校卒業、見習士官となり延吉に戻り、連隊付となった。

昭和二十年二月、部隊は台湾に移駐を命ぜられた。小生工兵大隊に派遣されて

いたので、台湾には行かず、満州の工兵大隊に残留した。昭和二十年八月初めソ連が満州に侵入して来たが国境にいなかったので戦斗せず命により桂木敷から吉林の方に転進中終戦となった。間もなくソ連が来て武装解除され(将校は軍刀を許された) 間もなく入ソ抑留生活となる(酷寒と栄養失調と労働)が紙面の都合で省略します。

万死に一生得て昭和二十二年四月十日、舞鶴港に復員した。軍隊生活も抑留期間を含み、満五年を経過したのである。

長工卒業時に大陸兎と署名して青春の夢を持って大陸に渡ったのであるが、満鉄関係三年、軍隊関係五年、即ち合計八年が、大陸兎の終わりであった。現在八十一歳で年金生活であるが、時々大陸の八年間を偲んでいるこの頃である。

二伸、紙面の都合で書きたいことも多々あるが残念ながら省略致します。御賢察下さい。平成十八年三月で八十五歳となる。

参禅の功德

長岡市中島 ●阿部昭次

「おいくつですか」
「三十七年生まれです」
「え、明治、大正、昭和」
「一九三七年、つまり昭和十二年、六十八歳です」
「とつてもそんなには見えませんか」
お世辞でも男の私でも嬉しいものです。

しかし、人の年齢はどうも顔や着るものでは無く、立ち居振る舞い、姿勢などから推定しているようです。もし私が年より若く見えるとすれば、坐禅も一つの効果かと思わいたします。坐禅は背筋を伸ばして、腹式呼吸で心を落ち着かせ「調身、調息、調心」これが若返りの妙薬のようです。それが証拠



同級会の記念写真を家内に見せると、「皆んな同じ年ですね」。浴衣姿では首から上しか比較できないからもつともです。

に坐禅会の参加者は皆さん、大変若々しく、美しい方々の多いこと。新しく落成した「坐禅堂」で若返りを願って参禅しませんか。

お詫び

先号のこのコーナーで掲載いたしました酒井美与吉様の投稿記事は、柏崎市の会田正勝様より投稿いただきました記事をお名前を間違つて掲載したものです。謹んでお詫び申し上げます。

お別れ

(平成十八年三月～六月末)
津端道夫様 三月廿八日寂
長岡市新保

小林ハナ様 四月 二日寂
長岡市稽古町

白井重之様 四月 三日寂
長岡市中貫

小川正和様 四月廿八日寂
長岡市

長沼憲雄様 四月廿八日寂
三条市

斎藤ミサ様 四月三十日寂
長岡市寺泊

若林修二様 五月 一日寂
長岡市西千手

本間富士子様 五月廿八日寂
大阪市千里山

林 美津恵様 六月 八日寂
長岡市高町

ご冥福をお祈り申し上げます。

KAKA笑の会第七回報告 ジャズコンサート

本堂内が暗くなると、四人のアーティストが照明に浮かび上がり、ブルーノ・トジャズオーケストラの演奏のオーブニングだ。今までもいろんなジャンルの演奏家から絶賛された、安善寺本堂での初のジャズコンサートだ。期待通りのしつとりとしたサクスの音色に、拍手が起きる。当日のプログラムを紹介しよう。

第一部 コンファメーション



黒いオルフェ(カーニバルの朝)

ジャズ・サンバ(ソ・ダンソ・サンバ)

アルフィー

ブルー・ロンド・アラ・ターク(トルコ風青い回旋曲)

ユ・ビー・ソー・ナイ・トウー・カム・ホーム・トウー

星に願いを
イパネマの娘

鈴懸の道
チャイルド・イズ・ボーン

スペイン
各パートのソロもピアノ

は軽快に、時にはフルートは甘く、ベースは重厚な響

きで、ドラムスは激しく、さわやかな初夏の夕べを飾

るにふさわしいひとときにみなうつとりと酔いしれた

のでした。二曲のアンコールのサービスにも感謝。な

お今回は、場内全員のいす席でこちらも好評でした。

*渡辺憲司(わたなべけん)

メンバ紹介

高野山参拝と熊野古道、南紀の旅(一)

駒形シズ

今回の安善寺様の旅行は飛行機の利用があると聞き一度は取り止めようかと思いましたが、何故か飛行機は怖いと云う先入観があったからです。でも、古い歴史ある高野山は一度は行って見たいと云う気持ちが強く、参加させていただきました。

不安な気持ちで出発し、初めての空の旅、恐怖感いっぱいでしたが、次第に窓の外景色を眺める余裕も出てきました。真っ白な綿雲の浮かぶ空、そして富士山の美しい姿、大阪城もはつき

(じ)：アルトサククス、フルート。

*猪俣光則(いのまたみつ のり)：ドラムス

*東 聡志(あずまさと し)：ウッド・ベース

*細木久美(ほそきくみ)：ピアノ

※次回KAKA笑の会は十月二十七日、小金山泰玄老師の「精進料理の夕べ」です。

りと見ることができましたので思わず拍手をして大変感動と驚嘆を覚えました。初めての空の旅を終え、根来寺へ。四季の変化に富み色々な姿を見せてくれると云う根来寺を参拝し、この度一番の目的地である高野山へと進む。高野山の入口の大門、総本山金剛峯寺、七堂加藍根本山塔、そして奥の院の参道と歴史を感じ、静寂で厳かな空気が流れており、身が引き締まる思いをしました。また、高野山の至るところに咲き乱れる石楠花の花も見事でした。

霊場高野山は、空海すなわち弘法大師が開山された真言密教の聖地であり、千二百年の歴史があります。標高九百メートルの山上に金剛峯寺をはじめとする百以上の寺が軒をつらねてひしめき合う一大宗教都市とも言えるのではないのでしょうか。

日本最大規模の霊場には、昔の大名から動物に



たるまで数多くの墓石や供養塔が立ち並び、年中野鳥のさえずりや線香の香が絶えることがないと説明を受けました。

宿坊に泊まり、早朝の冷えびえとした空気の中で読経を体験することが出来精神修養の場ともなっています。これまでに永い歳月と歴史の中で伝えられてきた

今も変わらぬ営みと、人々の信仰、精神やすらぎ聖域高野山は、これからもなお永遠に世の人々に親しまれることでしょう。

気温が低いため宿坊では一人ひとりのお布団に豆炭行灯が入っていた驚きと同時に嬉しかった。夜中の地震にもこれまた驚きました。(以下、次号へ続く)

あたかもよくすごした一日が安らかな眠りを与えるように、よく用いられた一生は安らかな死を与える。

—「レオナルド・ダ・ヴィンチの手記」—

旬歌 愁灯

[その十]

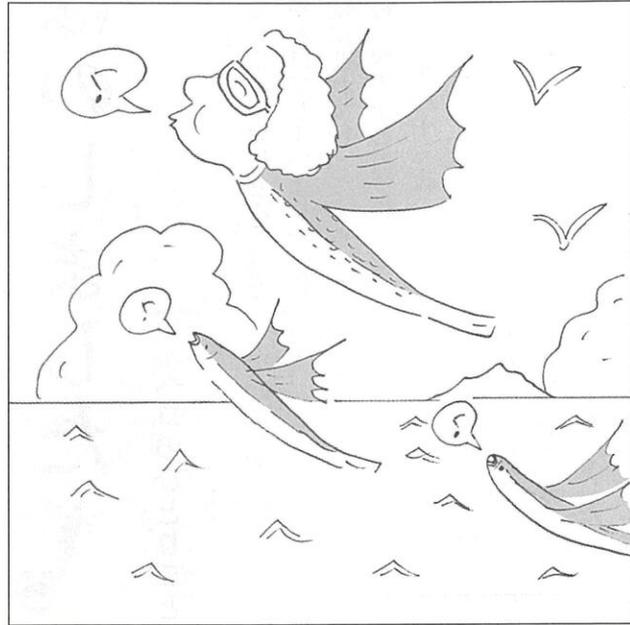
パピヨン

加瀬由紀子

「潮風爽やかに船旅なん
 だろう？ 鯛が最高に美味
 しい時季だし」などと友人
 から誘われ、その気になっ
 たのは十二名。土曜日の十
 時、岩船港発のフェリーで、
 カモメやトビウオと一緒に
 粟島へと向かう。

一等船室には、酔狂な私た
 ちだけで他のお客の姿がな
 い。甲板に上がると、その明
 快な答えに納得した。潮風の
 匂いをかぎながら、甲板で横
 になる者、輪になって座り楽
 しそうに笑う若者たち、椅子
 に腰を下ろし、海を眺める人
 たち。船首が分ける波の音、
 カモメの声、水平線はるかに
 かすむ島影。船旅の快適さ
 はこれだった。わざわざ差
 額を払って船室で時間をつ
 ぶす人間はいないはずだ。

内浦港に着くと民宿のマ
 イクロバスが待っていた。
 島の反対側、釜谷が今夜の
 宿泊地だ。歩けばすぐに裏
 側に出る、と聞いていた私



たちは島の中心部を占めて
 連なる山々に驚いた。
 既に出来上がっている集
 団に、民宿の女主人は「マメ
 アジが釣れますよ。釣竿を貸
 すのでいってらっしゃい」と
 と勧める。釣った魚はカラ揚
 げにして夕食のお膳に出し
 てくれると聞き、一同、酒の
 肴とはこのことだ、と勝手
 な解釈をして棧橋へ出かけ

る。小エビの餌に群がる小
 魚たち。海がきれいで底ま
 で見えるのだ。二時間ほど
 で四十匹も釣れただろう
 か、しかしながら猛烈に痛
 くてかゆい蚊の襲来に悲鳴
 を上げる者多数。帰路、バ
 ケツいっぱい魚を抱えた
 少年たちとすれ違い、ショ
 ックを受ける。しかも大き
 い。行き交う島の人々が私た

ちのバケツを見て、笑って
 いる。いいんだ、釣り果を
 競いにきたのじゃないも
 の、と聞き直る大人十二名。
 宿に戻って虫に刺されて
 かゆがっているのを見かね
 た主人が「漁火温泉、おと
 姫の湯へ行つて温泉につか
 れば痛みはとれますよ」と
 車を出してくれろという。
 食事までまだ二時間もある
 ので、早速出かけることにす
 る。とにかく島時間はのんび
 りしているのだ。これが島旅、
 非日常の世界でマッタリす
 るのが今回の旅の目的だ。

温泉の塩分が掻き傷に沁
 みてかゆみが引いてゆく。
 湯上りにまたビールを飲む
 怪しい集団を乗せ、マイクロ
 バスは景色のよい島の北側
 を案内して宿に送ってくれ
 るという。親切な島の人た
 ちの気持ちがあるがたい。

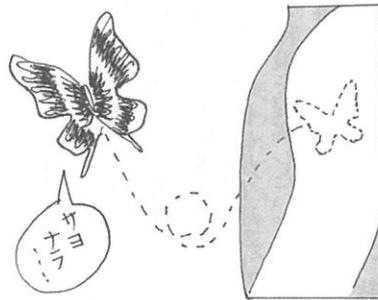
島の北端は波も荒く、断
 崖絶壁で、人影もない。岩
 ゆりのオレンジの花と崖を
 覆う緑が急峻な地形を彩
 る。山側はうっそうとした
 密林で畏怖の念を抱くほど
 だ。旧日本兵が潜んでいて
 も不思議ではない、と年配

の一人がつぶやく。
 この眺めと似ているのが
 サイパンの、バンザイクリ
 フを回つてたどり着く、
 「バードアイランド」だ。
 絶海の孤島に舞う鳥たちを
 思い出した。

「七つ目の波が沖に運ぶ
 んだ」映画が好きな一人が
 言う。映画「パピヨン」は
 一九七十年代の作品で、音楽
 はジェリー・ゴルドスミ
 ス。八回も脱獄を試みて、捕
 まるたびに、酷い牢獄につ
 ながれてゆく。最後に悪魔
 島からの脱出に成功した悲
 劇のヒーローの物語(実話)
 を、物寂しい調べが際立たせ
 ていた。主演のステイブ・
 マックイーンも今は故人だ
 が、歯が抜け、髪が真っ白に
 なり、それでも脱獄を試み
 る執念の男、パピヨンをすさ
 まじい気迫で演じた。腕に蝶
 の刺青を彫っていたところ
 から「パピヨン」と呼ばれた
 彼を助ける親友、ダステイ
 ン・ホフマンがまたいい味
 を出していた。二時間にも及
 ぶ長い映画だが、機会があつ
 たらまた見てみたいものだ。
 淡い夕闇が岬を包み始め

た。ここは悪魔島ではなく、
 粟島。沖を目指すのは、北朝
 鮮の工作船ではなくて、漁に
 出かける船。塩を含んだ風が
 強くなり、バスを揺らす。冬
 はもつと厳しく、本土との
 往来も途絶えがちになるの
 だろう。この島に生きてき
 た人々の苦勞を忍ばせる。

バスは釜谷の民宿へと帰
 ってきた。「お帰りなさい。
 さあさあ、ご飯ですよ！」
 と声をかけてくれるのも民
 宿の暖かさだ。きれいに並
 べられたお膳についてこの
 日六回目乾杯をする。大
 きな鯛の活き造りが運ばれ
 てきた。「残ったらアラ汁
 にしますね」。おいしそう。
 そして蚊に刺されて釣つ
 た、マメアジのカラ揚げも
 今は小さなお皿に載つて。



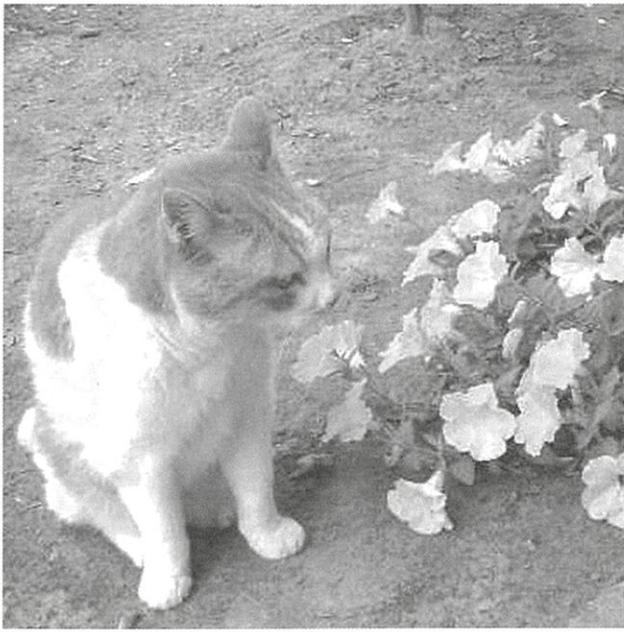
ほのぼののしました



ペコのひとりごと

紫陽花がきれいな時節になつてきましたが、雨が降らず紫陽花どころか、震災後少しだけ直した庭の木々もぐったりとして雨を望んでいるように見えます。

私はと言いますと、四月頃から体調がすぐれず、食欲がない上に気持ちが悪くなって、あちこちでもどし



てしまい、お母さんに迷惑をかけてしまいました。病院に連れて行ってもらったが、腎不全と言う診断でした。「普通十三歳くらいから症状が出る事が多いのですが、今まで何事もなく良かったですね」と言われま

ますが、顔が若いですね！」具合が悪く診察台でぐったりとしていた私ですが、嬉しくて心臓がドキドキしてしまいました。若いと言わたからにはもう一度元気にならなければと思う精神力と薬効も重なり食欲も、元

気が出ました。それと私にはもうひとつ元気がなければならぬ理由があるのです。それはようやく仲良くなったサクラがもうじきお母さんになるのだそうです。そんなサクラも先日、私と同じように具合が悪くなり、お

母さんは私とサクラの看病で大変でしたが、ようやく私もサクラも元気になる一安心というところです。この季刊紙が皆様のお手元に届く頃には、サクラの可愛い子供達が廊下をチュロチュロしていることでしょう。私もそんな可愛い子

供達を鳥等に狙われないように守ってやらなければならぬので、責任重大です。先日、お寺でほのぼのとした光景がみられました。成人式を迎えた人が振袖姿でお墓参りに来られました。丁度私も草むらから見ていたのですが、良いものですね！

この頃同じ様な事がありました。夕方お母さんが玄関の鍵を閉めた後、チャイムがなり、何かなと思つていたら赤ちゃんを抱いたご夫婦が「今日、百日目なんでお参りにきました。遅くにすみません」と玄関の前に立つておられました。本尊様とお位牌をお参りし、にこやかに帰って行かれました。ホットするひと時です。

ニヤーン
編集 日本
の出生率減少が止まらないようです。2005年は女性が一生のあいだに産む子供数が1.25人と発表されました。団塊の世代が生まれた昭和20年中頃は3.7人程だったそうです。約三分の一に子供数が減ったことになりま

す。地域別では沖縄県が1.72人と出生率が最も高く、東京都が逆に1.0人と最も低いそうです。また、世界を見ますと、アメリカが2.05人と最も高く続いてフランス1.9人、デンマーク1.78人、スウェーデン1.75人と高いですが、低い方ではイタリア、日本、韓国と発表されています。韓国は1.08人と6年前の1.47人から激減しているそうです。その原因は子供の教育費、特に塾代を含めた家計負担が大きく、学校教育費の私的負担では世界一の高さださうです。出生率回復に各国とも色々な対策をしているよう

です。フランスでは3人の子供を9年間養育した男女に年金額を10%加算するなどし、出生率を94年の1.65人から02年に1.88人に回復させたそうです。4人の子供を育てた私としてはぜひ日本も取り入れてもらいたいものですが、それはさておいて、日本でも男性に育児休暇を取らせたり、児童手当の年齢を引き上げたりしているようですがあまり効果はあがってないようです。

そこで私は出生率を上げる秘策を提案したい。それは毎日早く帰宅し、夜12時以降のテレビの休止、コンビニ、飲食店などの閉店。これだけで出生率は回復するばかりでなく、青少年の犯罪も低下すること間違いなし。夜の長い北欧では出生率が高いのです。教育費ばかり考えて子供をつくる人はいませんよ。ね。猪口大臣にもぜひ提案したいと思つてます。(室賀清輝)

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、こいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

第三十五号、秋号は平成十八年九月十五日(金) 発行予定です。